

かみくげ恐竜の里新聞

令和3年1月20日

発行…上久下恐竜の里づくり部会

第130号

上久下地域協議会
自治協議会
0795 78 0001

新年のご挨拶

上久下地域自治協議会 会長 野垣 克己



上久下地域の皆さん、新年あけましておめでとうございます。暮れに降り積もった雪も融け穏やかな年明け、ご家族お揃いで新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。日頃より自治協議会の諸活動に対するご支援・ご協力頂いていることに感謝申し上げます。

振り返りますと、新型コロナウイルス感染症で緊急事態宣言が発令され、感染防止に生活が一変し、各種の行事が中止若しくは規模縮小を求められることとなり誰もが想像しえなかった一年。

一方、恐竜の卵化石(ヒメウリスラムラカミイ)がギネス世界最小記録に登録されたこと、檜皮の採取や檜皮葺きなどの伝統建築工匠の技がユネスコ無形文化遺産に登録されたこと、上久下地域に二つの世界的な出来事がありました。

新しい年を迎えて

上久下自治会 会長 大岡 正己



今年は、年明け早々からコロナウイルス感染が爆発的に拡大している状況にあります。私たちは、基本(手洗い・うがい・マスク着用・消毒・三密防止)に徹し、感染しない対策を更に継続し収束を願うところです。当面は規模縮小の形で各種の事業行事再構築に、与えられた自然豊かな環境・伝統・文化の継承に努め、牛歩のごとくじつくりと地に足を付け邁進したいと思っています。自治協議会の更なるご協力をお願い申し上げ、この一年が皆様に“幸多い年となる”ことをお祈り致します。

新年あけましておめでとうございます。令和3年を迎え皆様には恙なく新春をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域の皆様の安全を最優先に鑑みて例年の行事の数々が中止となり残念な一年となりました。そんな中、上久下の檜皮葺きなど日本の木造建築物を守り伝える「伝統建築工匠の技」がユネスコ無形文化遺産に登録されるという嬉しい知らせがありました。これを機に檜皮の里をPRしようと、慧日寺において檜皮採取や屋根葺きの公開実演が執り行われました。また、各自治会に竹灯籠作りで協力いただいた、かみくげ宿主催の「一発花火」には住民一同元気をもらいました。そして、こんな時こそ多くのボランティアの方が小学校の環境清掃をして下さり、地域の方々の暖かさを感じました。

今年もまだ先の見えないながらも一歩ずつ前に進みながら、コロナに負けない「上久下」を目指し、距離をとりながらの新たな方法で行事ができるように自治会長会で取組んでいきたいと思っております。地域の皆様には今後ともご協力をお願いします。地域とともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

地域とともにある学校づくり

上久下小学校 校長 中澤 正樹



新年あけましておめでとうございます。地域の皆様には、コロナ対策を含め、学校教育活動を力強く支えていただいております。こと、心より感謝申し上げます。

上下つ子たちは、数々の歴史・文化遺産と地域づくりの伝統が息づく、ここ上久下の郷で、日々、心豊かに育まれています。

さて、学校教育の大きな使命のひとつは、「地域の次世代の担い手を育てること」にあります。現在、本校では、「コミュニティスクール」という学校のあり方、即ち、「地域とともにある学校づくり」を推進しております。これまでになかった新しい発想や方法で、広く地域の方々に子どもたちを育てる活動に参加いただけたらと思っております。

子どもを育てる「人づくり」が、地域の方々の「生きがい」となり、そして、次世代の育成を含めた「地域づくり」そのものになつていくような、「学校づくり」を進めてまいりたいと思っております。

今後とも上久下小学校の教育活動へのご支援・指導をよろしくお願い致します。



4回目の一発花火を終えて

かみくげ宿 宿長 土田 正博
かみくげ宿 一同

新年明けましておめでとございます、今年もかみくげ宿はアマビエをバックに付け、何かとやらかしますので、御覚悟を宜しくお願いいたします。

昨年から今年にかけ私達は20年、いや20年に一度あるかないかの恐ろしい出来事を経験し、新しい生き方、新しい生活の仕方にシフトせざるを得ない状況に追い込まれましたね。

宿も、Zoom という物を利用した新しい文化になるだろうオンライン会議をやってみることにしました！ 私のパソコンにズームの「目」が来て、そこをクリックすると久々の顔が映し出される、これがかみくげ宿初会議だったんです。（おーい）と呼んでみる。（おー）聞こえますよと返ってくる。なかなか面白いが何か噛み合わない、少し上達したうには40分の時間切れ。もう一度繋ぐ、酒呑んでる奴もいる、飯食ってる奴、さらに繋がる気楽な奴らを相手に、私だけ真面目に話しを進める???

今年はこの状況で、かみくげ宿として何

が出来ます？ 自治協も自治会も恒例の行事が出来ない中で、宿だけは何かをしたいんだが...でも強行して何かあったらどうする？ 責任取れんのか？ 宿はやっぱり花火でしよう、花火なら外だし！ なるほどなー、では花火はやることにしよう。花火と同時に、今年だからこやつて意味のある事はないのか？ 少し考えよう。集まらず出来る事、今年の状況を映像に残すのはどうか、コロナ終息を願って竹灯籠がいいのでは？ 出来れば、200本、上久下全体の家の数が20軒、Xとします。

そして自治会長会に出席をさせて頂き、協力をお願いをさせて頂きました。今年は自治会の行事が少ないので、何とか竹の切り出しを手伝って貰えないか、一軒に竹2本を協力して貰う事で、皆さんひとりひとりの行事になるのではないかと、安易な考え方にもかわらず、とても大きな心で受け入れてもらいました。短いを含め、何となく本物の竹が集まりました。かみくげ宿がやる行事に、何故自治会がある中、損得ではなくプラスマイナスを考えて頂き、本当にありがとうございました。

宿メンバー達も、20本の竹を加工、頑張りましたねー。竹灯籠の設置を終え、暗くなりドローンの映像を見た時、まあ、見事にアマビエとかみくげの文字、その美しさに感動。そして、その後ろに打ち上がる花火を想像した時、上久下の皆さん全員に感謝の気持ちを伝えたいと思ったのは、言うまでもありません。

小学校の子供達の純粋な願いも、灯籠に



上空から見た竹灯籠の絵柄



28発の花火が同時に打ち上がった

書いて貰いました。とてもカラフルで綺麗に書けてましたよ。ボランティアグループのお母さん方にも手伝って頂きました。又、今年の募金箱は何処にあるんや？ と言ってくれる方、ご厚志の数々感謝しありません。本当にありがとうございました。

今年も今まで通り、織錦在郷の心を大切に、流れない水は腐るといいますが、腐らせないよう大きくゆつたり流していきたいと思えます。これからも何を言いたいかかわらないかみくげ宿ですが、ご協力とご理解を頂きます様お願いを申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

2月の予定

- ◆ 2月6日(土) 地域づくりセンター
清掃(青田篠場) 午前9時から
- ◆ 2月12日(金) 恐竜の里づくり部会
午後7時30分から
- ◆ 2月17日(水) 自治会長会
午後7時30分から
- ◆ 2月27日(土) 地域づくりセンター
清掃(阿草) 午前9時から
- ◆ 2月9日(火) 恐竜時計台のカフェ
午前10時から

